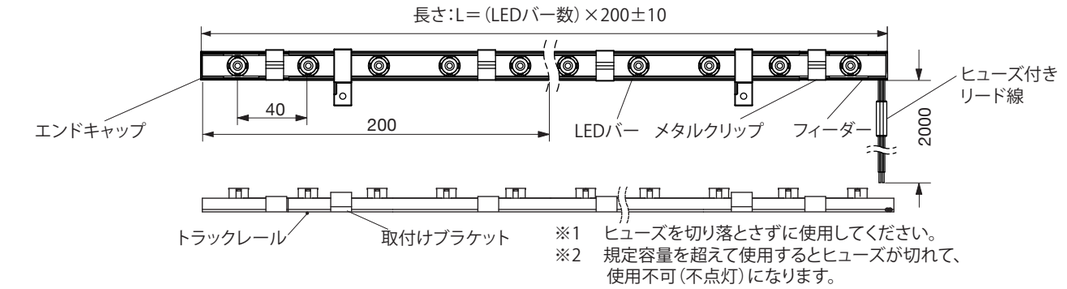
TOKISTAR® LIGHTING SYSTEMS

取扱説明書

トキラックスWG　**TLXWG-___K-__-__**

この度は、トキスター製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくため、取り付け前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、本取扱説明書は必ず保存してください。

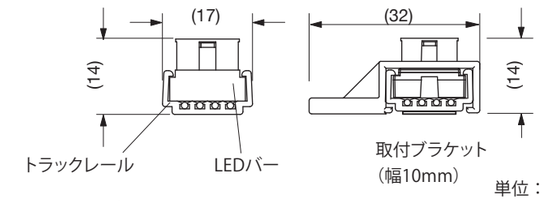


※1　ヒューズを切り落とさずに使用してください。
※2　規定容量を超えて使用するとヒューズが切れて、使用不可(不点灯)になります。

■仕様

定格電圧	AC24V /DC24V兼用
消費電力	4.0W / LEDバー
色温度	2400ケルビン 2700ケルビン 3000ケルビン
レンズ配光	SP ：スプレッド 16D：16° 24D：24°
リード線	AWG18平行2芯線 2m(フィーダー部)
材質	トラックレール：PC
付属部品	取付ブラケット(バー数＋１個) 取付ネジ：ナベ小ネジ　呼び3.0mm　L=13mm (取付ブラケット１個につき１個付属) メタルクリップ(LEDバー13バー以上の連結時)

側面拡大図　　取付ブラケット装着時



単位：mm

■品番

TLXWG-3000K-SP-10

- 光源色
- 配光
- LEDバー装着数 最大23バー※

※装着数が13バー以上の場合は、レールを分割して製作致します。

■ご使用になる前に

- 出荷案内書の記載内容と商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
- 出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に万一製品が破損していた場合はすぐにお知らせください。
- 配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています)
- 電源に電子トランスは使用できません。
- トキラックスWGは、極性があるトキラックスKTとの混在使用はできません。
- 分解、改造は行わないでください。製品保証対象外となります。
- LED製品には、LED素子の性能向上や素子製造時のばらつきにより、個々のLEDで発光色や明るさが異なる場合があります。
  また、当社製FF調光スレーバや市販される電圧制御の調光機器で消灯付近まで調光した場合、LEDの特性上、
  ごく微弱な緑発光が起きる場合があります。
- 機器に高電圧がかかる絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因となります。
- 器具から小さなきしみ音がする場合がありますが、金属と樹脂との熱膨張率の違いによる摩擦音であり異常ではありません。

注意

本灯具は24V専用灯具です。AC100Vなど定格を超えた電圧がかかると内部素子が損傷し、
破損や著しい寿命の短縮、発色の変化などが生じます。配線には十分に注意してください。

本灯具は一般屋内用器具です。下記のような使用環境、条件下では使用しないでください。

- 周囲温度が0℃～40℃の範囲を超える場所
- 周囲湿度が30～80%RHの範囲を超える、あるいは結露が生じる場所
- 粉塵が多い場所、振動が多い場所
- 可燃性ガス、腐食性ガスなどの発生する場所(シーリング材を密閉空間で使用した場合、ガスが発生する場合があります。)
  使用する場合は各メーカーまでご確認ください。
- 浴室など湿気の多い場所

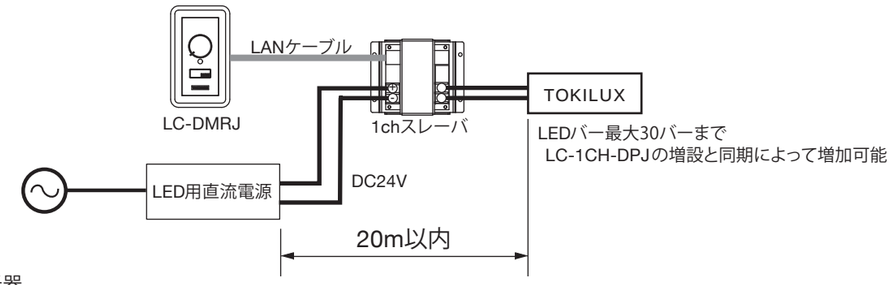
※使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、弊社までお問い合わせください。

■調光時の配線

使用する調光器によって、配線方法が異なります。
調光器の取扱説明書もあわせてご確認のうえ、配線を行ってください。

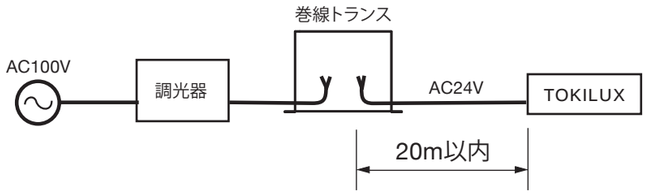
●LED直流調光器 LC-DMRJ

トキスター製のLED直流調光器LC-DMRJを使用することで、最適な調光点灯が可能です。
制御方式の関係上、LED用直流電源でのみ動作します。
電線を延長する場合には、1.25mm²以上の電線を使用し、電源から灯具までの距離が20m以内になるようにしてください。



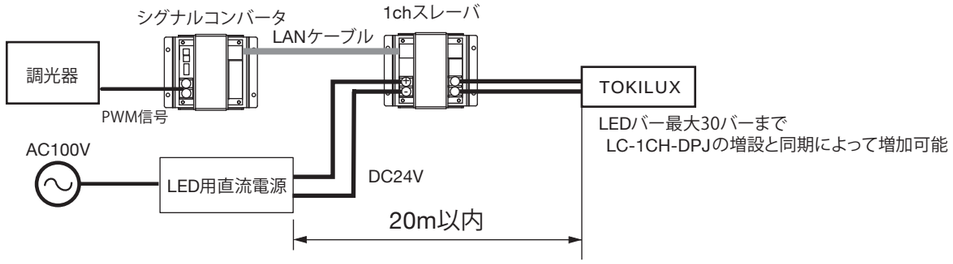
●１次側調光器

ローボルトトランス対応の１次側調光器と、巻線トランスの組み合わせで調光が可能です。
利用できる調光器については弊社カタログまたはホームページをご参照ください。
また、調光器には最大負荷が設定されていますので、必ずご確認の上ご利用ください。
電線を延長する場合には、1.25mm²以上の電線を使用し、巻線トランスから灯具までの距離が20m以内となるようにしてください。



●ＰＷＭライトコントロールの利用

市販の蛍光灯用調光器のＰＷＭライトコントロール信号を変換し、弊社製ライトコントロール機器を使用することができます。
詳細はお問い合わせください。
電線を延長する場合には、1.25mm²以上の電線を使用し、電源から灯具までの距離が20m以内となるようにしてください。



○商品のお取り扱いに関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。

トキ・コーポレーション株式会社　〒143-0006　東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレ2F
Tel.03-5763-6121(代表)　Fax.03-5763-6130　http://www.toki.co.jp/tokistar/

2015.3.23

■取り付け

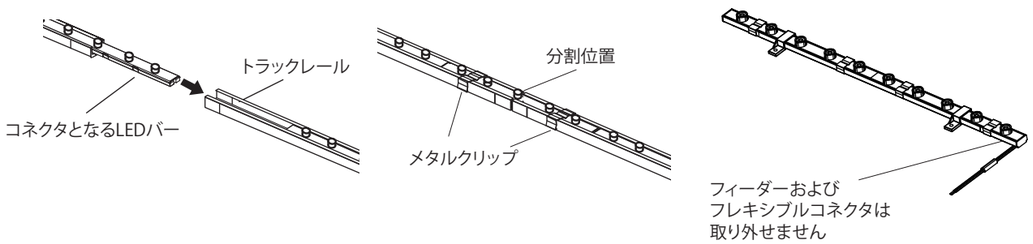
灯具の取付位置と、電源、コントローラの設置位置を確認した上で行ってください。

注意

- 平置きで設置する場合には、両面テープでの取付も可能ですが、壁付けや天井付けの場合は十分な取付強度が得られませんのでおやめください。
- 直接踏みつけるなど、強い力を加えると器具が破損します。床面などへの取付はおやめください。
- 照射物までの距離が100mmより短いと、被照射物の変色や変質の恐れがあります。
- 指定の取付方法に従わない施工は、製品寿命の減少や異音発生の原因となりますのでおやめください。
- 作業は電源を切った状態で行ってください。
- 電源供給部となるフィーダーおよびフレキシブルコネクタ部分に強い力がかかると、端子部分や灯具が破損する恐れがあります。フィーダーおよびフレキシブルコネクタ部分を持たないようにしてください。
- フィーダーおよびフレキシブルコネクタは取り外しはできません。

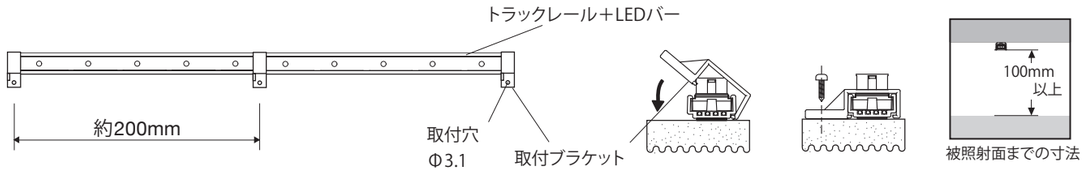
1. 灯具の確認・組立

12バー（2.4m）より長いトキラックスは組立作業が必要です。
下図にしたがって分割されているトキラックスを接続してください。
トラックレールを『はみ出して』取り付けられたLEDがコネクタとなります。
もう一方のトラックレールに差し込み、LEDバーの両端を付属のメタルクリップで固定してください。

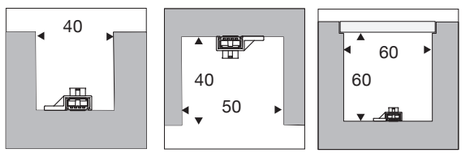


2． 取り付け

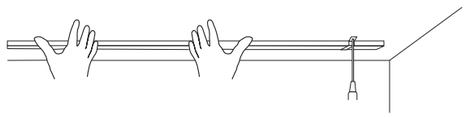
LEDバー１本につき１つの取付ブラケットで固定されるように、施工面に200mm間隔で取付ブラケットをネジ止めしてください。
また、強い光の放射される正面方向での被照射物までの距離は100mm以上となるようにしてください。
器具の発熱とメンテナンス性を考慮した最小施工寸法を定めていますので、必ず指定の寸法以上のスペースへ取り付けてください。
断熱施工には対応しておりませんので、アクリルカバーなどで覆って使用する際はご注意ください。



最小施工寸法



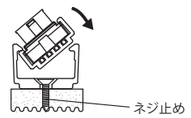
●天井付けを行う場合



天井に取り付ける時など、トキラックスWGを持ち上げる際は、
端の１箇所のみを持ち上げたり、１箇所のみを固定して垂らす
など、器具が極端に反る状態は避けてください。
複数人で、灯具を支えながらの取付を推奨します。

●取付クリップ　（オプション品）を使った取り付け

オプション品の取付クリップ(TLX-CP)は、ネジ止めのみで固定できる取り付けパーツです。
取付けブラケットと比べて、幅が小さいので、ミゾに取り付ける際など、
スペースが限られたときにご使用ください。
取付ネジには3mmの皿ネジを使用してください。



■配線

トキラックスは24V定格（AC/DC両対応）です。
リードコネクタの電線を24V電源に接続すると、同一トラックレールに装着したLEDバーが点灯します。
下表は弊社製巻線トランスおよびLED直流電源がご使用頂けます。電子トランスではご使用になれません。
下表右は、接続できるLEDバーの数となっています。

●電源に取付可能なLEDバーの数

AC24V巻線トランス	
TR-2050N	12バー
TR-2100N	25バー
TR-2160N	40バー
TR-2240N	60バー
TR-2320N	80バー
TR-2640N	160バー
DC24V LED用直流電源	
LPS-120-24A	30バー

電源との接続には圧着端子などを用い、確実に行ってください。
また、結線時には必ず供給電圧の確認を行ってください。
定格と異なる電圧を印加すると大変危険です。

注意

- 連接できるLEDバーの数は最大24バーです。1系統で24バーを超えての連接をおこなうと、灯具に流れる電流の許容値を超え、発熱する恐れがあり大変危険です。
- AC100V等、定格を超えた電圧を印加すると内部の素子が損傷し、灯具が破損、著しい寿命の短縮、発色の変化などが生じます。
この場合は保証の対象外となりますので、十分に注意した上で配線してください。

■トラックレールの切断

注意

- LEDバーは切断できません。
- フィーダー側のトラックレールを切断しないでください。エンドキャップ側で切断してください。

トラックレールは、施工箇所に合わせて切断が可能です。
標準出荷状態では、トラックレールの長さはLEDバーの数に合わせたぴったりの長さになっています。
施工時に現場で短く切断したいときは、エンドキャップ側のLEDバーを取り外し、トラックレールを弓のこや工業用ハサミなどを使って適切な長さに切断してください。この際、抜くバー数×200mmを目安にカットしてください。
切断部には必ずエンドキャップを装着してください。

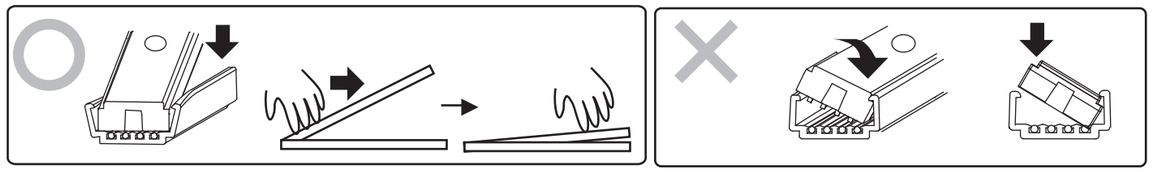
施工時のポイント

切断によってLEDバー分の長さが足りなくなり、装着できない隙間ができてしまった場合には、
装着しているLEDバーをスライドさせて、ダークスポットが生じにくいように調節してください。

■LEDバーの交換

必ず電源が切断されていることを確認し、リードコネクタを取り外した状態で行ってください。
取り外す際には隙間にマイナスドライバーなどを差し込んで持ち上げてください。
外れない場合には、取り外したリードコネクタ側か、エンドキャップ側からスライドさせて
取り外してください。

LEDバーを再度装着する際は、下図のように片側の先端をとりつけてから、少しずつ差し込んでください。



注意

LEDバーを誤った方法で取り付けると、LEDバー本体や端子部分が欠損するおそれがあります。
必ず記載の正しい方法で交換を行ってください。